年間授業計画　新様式例

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科　国語　　科目 文学国語

教　科：　国語　　科　目：　文学国語　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　2 学年　 1 組～　 6 組

教科担当者：（１組：茅　）　（２組：神﨑　）　（３組：神﨑　）　（４組：茅　）　（５組：神﨑　）　（６組：茅　）

使用教科書：（ 新編　文学国語　　）

教科　文学国語　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることが出来るようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力や共感力、想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の想いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯に渡る社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	『書くこと』『読むこと』の各領域において、論理的に考えるカや深く共感したりかに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	「少なくとも最後まで歩かなかった」　「そとみとなかみ」	○	○		・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○	○	7
	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	「山月記」		○	○	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		○			2
2学期	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	「ナイン」			○	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○	○	11
	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	「離さない」	○		○	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		○			2
	定期考査			○	○		○			1
3学期	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	「こころ」	○	○		・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。	○	○	○	16
	・筆者の考える読書の効用について、文章構成をもとに理解し、自分に照らして考えを深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。	「こころ」		○	○	・小説という文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	○	○	○	合計 71